

絵で導入・絵で練習

Practise with pictures,
Learn through pictures

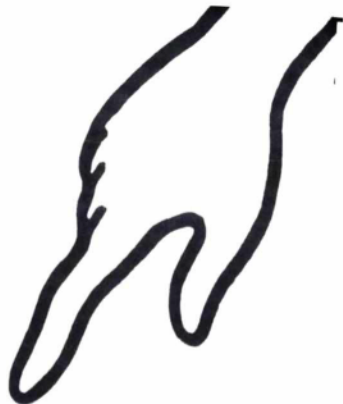
著

足立章子
梅田仁
亀田子
齋藤伸
齊藤祐
齊田美
鶴田優

CD
ROM



にほんこの
凡人社



絵で導入・絵で練習

Practise with pictures,
Learn through pictures

著

足立章子
梅田康子
亀田田子
齋藤伸子
斉藤祐美
鶴田優

 にほんごの
凡人社

はじめに

初級の文型の指導では、導入が大切です。でも、「導入には絵を使いたい。でも、絵を描くのは苦手」「自分で描いてもいいけれど、忙しくてとてもできない」などと考えている方が多いのではないのでしょうか。

また、初級の授業では、導入後に定着をはかるための練習も大切です。ここでは、導入でつかんだイメージをこわさず、無理のない流れを作りたいものです。しかし、基本的な例文をたくさん考えるのは時間のかかる作業ですし、どのような順番で定着させていけばいいのかわからない、という悩みを抱える方もいらっしゃるでしょう。導入に続き、もう少し絵を使って練習したいけれど、どんな順番でどのくらい準備すればよいのか迷う方もいらっしゃるでしょう。

『絵で導入・絵で練習』は、そんなとき活用していただきたい教材です。本書には、文型をわかりやすく表した「導入のための絵」と「練習のための絵」が、コピーしてすぐに使える形で掲載されています。絵は全部で650点。しかも、絵の入ったCD-ROM付きですので、加工してオリジナルの教材を作成するのも簡単です。宿題や書く練習には、巻末の練習シートも便利です。

また、文型ごとの【導入例】と絵に対応した【例文】は、導入から練習まで絵を十分に活用した授業の組み立てに活用できます。

本書で扱う文型は、初級文型65です。メインテキストがある場合でも使いやすいように、文型は、広く使われている一般的な日本語教科書に対応したものが選ばれています。

本書は、経験の浅い日本語教師の方やボランティアで教えている方、海外で日本語を教えている方はもちろん、毎日忙しいベテラン教師の方にも、便利に使っていただけたらと思っています。

最後に、長い間企画と準備にかかっていた本書が今回ようやく出版の運びとなりましたことは、イラストレーターの方々および、凡人社のご協力の賜物です。ここに筆者一同、感謝の意を表します。

2004年10月

筆者一同

本書をお使いになる方へ

本書は、初級 日本語の授業における文型の導入と文型練習のために、主に教師や指導者が使用することを目的として作られています。文型の導入とそれに続く基本的な文型練習を視覚的にやりたい方を支援するために、イラストと導入例、基本的な例文を掲載しています。さらに、練習 プリント作成のための練習 シートも掲載しました。

1. 本書の構成

本書は、大きく「イラスト編」と「導入・例文編」の二つに分かれています。

1～65の基本的な文型を扱っており、それぞれの文型ごとに、以下のものが用意されています。

- ① 導入のためのイラスト
- ② 導入の例文
- ③ 導入方法の例（【導入例】）
- ④ 9種類の基本的な例文を表すイラスト
- ⑤ 9種類のイラストに対応した例文（【例文】）

2. 本書の使い方

本書には、大きく分けて二つの使い方があります。それは、「導入のための使い方」と、「練習のための使い方」です。どのように使うかは、使用目的とその時々状況に合わせて決めてください。二つを組み合わせて行うこともできます。

なお、付属のCD-ROMは上記どちらの場合にも利用できます。使い方は「2-4. CD-ROMの使い方」をご覧ください。

2-1. 導入のために本書を使うとき

各文型ごとに導入のための絵があり、78ページから121ページには各文型の【導入例】をあげています。絵と【導入例】を使って文型を導入します。

ただし、学習者の属性や人数、構成は状況によって異なりますので、【導入例】はあくまでも参考として、状況に合った方法を工夫してください。例えば、【導入例】ではことばを最小限に絞り、学習者に対する文法説明や語彙の説明、板書の方法などは割愛していますが、必要に応じて適宜入れるようにしてください。また、学習者のもと話をしながら進めたほうがうまくいくと思われる場合は、状況に合わせたやり取りを増やすなどの工夫をしてください。

【導入例】の下にある①は、特に補足説明があるときのマークです。参考にしてください。

〈使い方の例—導入〉

- ① 導入の絵の大きさを決めます。学習者数や教室の広さなどによって決めてください。
- ② ①で決めた大きさに絵を拡大・縮小コピーします。
- ③ 教案を作ります。
- ④ 実践します。

＊ 付属のCD-ROMを利用して、パソコンから直接プリントを作ることができます。詳しくは、「2-4. CD-ROMの使い方」をご覧ください。

以下のような工夫もできます。

- ・【導入例】が学習者や教室の状況に合わないと感じられたときは、【例文】の絵を導入に使うことも可能です。
- ・学習者が理解しにくい項目の場合、【導入例】の絵だけではなく【例文】の絵も利用して導入の時間を多めに取ると理解がしやすくなることもあります。
- ・導入の文を提示した後、文型練習に入る前に、学習者の身近な話題を使って似た文を作るのもいいでしょう。

2-2. 練習のために本書を使うとき

それぞれの文型ごとに、文型定着のための練習に使う9種類のイラストと、それに対応する例文をあげています。イラストは、9種類が1枚の紙に並べてレイアウトされているので、そのままコピーをとって一度に使うこともできます。

イラストの配列は、基本的には易しいものから難しいものへとなっていますが、例えば品詞によって接続方法が異なる文型の場合など、品詞ごとに配列されていることもありますのでご注意ください。お使いになる前に、9種類のイラストからどれを選んで使うのか、順番はどうするのかなど、例文を参考にしながら十分考えてください。

練習のためのイラストは、作文練習や宿題をはじめ、いろいろな使い方ができます。また、巻末の練習シートを利用すると、プリントを簡単に作ることができます。

〈使い方の例—教室での作文練習〉

- ① 練習で使う絵を決めます。
- ② 使う絵をコピーします。学習者に配布するプリント用であれば、通常大きさは変えなくても大丈夫でしょう。
- ③ 巻末の練習シートをコピーします。
- ④ ②で作ったコピーと練習シートと一緒にコピーします。
- ⑤ 完成した絵入りの練習シートを学習者分コピーして、配布します。

＊ 練習シートは、9種類の絵をそのまま使うときに、特に便利です。

＊ 付属のCD-ROMを利用して、パソコンから直接プリントを作ることができます。詳しく

くは、「2-4. CD-ROMの使い方」をご覧ください。

以下のような工夫もできます。

- ・授業中、学習者一人一人に配付して作文練習をします。
- ・宿題として配付します。
- ・絵と例文をばらばらに配列して、例文と絵を合わせる活動（線で結ぶ、選ぶなど）をします。
- ・【例文】の絵を1枚ずつ拡大し、フラッシュカードのようにキューとして使い、口頭練習をします。

このほかにも様々な工夫をすることで、様々な使い方が生まれるでしょう。ぜひ多彩な方法で活用していただきたいと思います。

2-3. 【例文】を使う際の注意点

本書後半の「導入・例文編」に載っている例文は、あくまでも「解答例」です。絵だけを見るとき、学習者が想像を膨らませ、例文と異なる文を考える可能性があります。「解答例」とは違う作文を学習者がした際に、作文が絵の場面・状況や文型に対して適切な意味用法である場合は正解としてください。

例文に使われている語彙は、日本語能力試験3級までを目安として、多くの日本語教科書で使われているものを中心に選びました。ただし、シラバス、使用教科書、授業の進捗などによっては、その文型を学習する時点で未習のものがあることが考えられます。その点を十分配慮し、使用する前に必ず例文を確認してください。未習語彙がある場合は、その例文は使用しない、あるいは新出語彙としてその場で示すなどの対処が考えられますので、学習者や授業の状況によってご判断ください。

また、前述のように、項目によっては例文の提出順が文法的な条件などによって決められている場合もありますので、使用の前にこの点も十分ご確認ください。

2-4. CD-ROMの使い方

付属のCD-ROMには、テキストに収録されているすべての絵が入っています。テキストをコピーする代わりに、コンピュータを使って直接CD-ROMから絵をプリントアウトすることもできます。ワープロソフトなどでオリジナルシートを作り、それに絵を貼りこむこともできます。

〈基本的な使い方〉

- ① CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに入れる。
- ② 自動的にソフトが立ち上がります（※注1）。
- ③ CD-ROMの構成は、(1)目次(2)導入の絵(3)練習の絵となっています。目次で見たい項目をクリックすると、そのページに飛ぶことができます。

14: [絵の一覧]: 練習の絵9枚を表示します。

[絵の印刷]: 表示している絵をA4サイズで印刷します。(※付録2)。

[絵のコピー]: 表示している絵をコンピュータのクリップボードにコピーします。絵を直接クリックしても [絵のコピー] ができます ([絵の一覧] を表示しているときは9枚セットの状態^{じょうたい}でコピーされます)。コピーした絵は、ワープロソフトなどにペーストすれば、自由にサイズを変更することができます (最大A3サイズまで対応)。

※ 注1 Macintosh の場合、OS9までは自動起動しますが、パソコンの設定でCD-ROMを自動起動しない設定にしている場合や、OSXの場合は、それぞれフォルダ内の「EDE_OS9」、「EDE_OSX」をダブルクリックして起動してください。

Windows Vista[®]の場合、自動起動しない場合があります。自動起動しない場合は、「マイコンピュータ」のCDドライブを右クリックし、「開く」を選択してください。

※ 注2 Macintosh OS9で印刷する場合、1回目^{はつめい}にのみ用紙サイズ設定ウィンドウが出ます。このときに用紙の縦・横を間違えてしまった場合は、システムフォルダ→初期設定の「PrintOMatic Preference」をゴミ箱に捨てると、もう一度用紙サイズ設定ウィンドウが出ます。なお、他のソフトから印刷する場合は、そのソフトのご使用方法に従ってください。

・Macintosh は、Apple Inc. の商標です。

・Windows Vista[®] は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

3. 本書ご使用の目安

本書の文型提出 順は、一般的な初級の教科書に準じたものとなっています。1番から順に使用しなくてはならないということではなく、学習者の状況や授業の内容によって、必要な箇所を選んでご使用ください。どこから使い始めてもかまいません。ただし、初めのほうに出てくる文型には比較的易しい語彙、後のほうに出てくる文型には比較的難しい語彙が使用されています。その点も考慮しながら、ご使用の計画を立てられることをお勧めします。

お使いになる方によって様々な使用方法が可能ですが、本書の特徴の一つです。皆様の工夫とアイデアで、本書を十分に活用ください。こんな工夫をしてみたという、皆様からの声やご提案もお寄せいただけると、有り難く存じます。

目次

はじめに

本書をお使いになる方へ

	イラスト	導入・ 例文編
1 ～をください	12	78
ジュースをください		
2 ～から～まで	13	78
学校は9時から3時までです		
3 ～で (手段・道具)	14	79
鉛筆で名前を書きます		
4 ～ませんか	15	79
コーヒーを飲みませんか		
5 ～ましょう	16	80
バスに乗りましょう		
6 もう・まだ	17	81
もう名前を書きましたか・いいえ、まだです		
7 ～は～が	18	82
私は髪が長いです		
8 ～に～がいる・ある	19	82
動物園にライオンがいます		
9 ～がいちばん	20	83
メロンがいちばん高いです		
10 ～より～のほうが	21	84
バナナよりりんごのほうが高いです		
11 ～たい	22	85
ごはんが食べたいです		
12 ～しに	23	85
喫茶店へコーヒーを飲みにいきます		
13 ～てください	24	86
窓を開けてください		
14 ～ている (進行)	25	86
ごはんを食べています		
15 ～てもいい	26	87
電話を使ってもいいですが		

